



八峰町こども大学「芸能発表会」に参加

12月2日(月)

本校3・4年生が八峰町ことぶき大学「芸能発表会」に参加し、学習発表会で披露した演目を発表しました。発表会の3番目と4番目に登場した3年生と4年生ですが、特に緊張することもなく、ステージに立つと堂々と演目を披露しました。

子どもたちの元気で一生懸命な姿に、会場からは大きな拍手が送られ、子どもたちも満足げでした。



県学習状況調査を実施

12月4日(水)、4～6年生を対象とした「県学習状況調査」がありました。

4年生は3教科(国・算・理)と質問紙調査、
5・6年生は4教科(国・社・算・理)と質問
紙調査でした。1～5校時まで、子どもたちは
集中して取り組んでいました。

同日に、1～3年生も郡市一斉算数テストを実施しています。

後日、学校報にて結果をお知らせします。



なわとびをがんばっています！

今週から、「すくすくタイム」（2校時後）で、なわとびに取り組んでいます。冬期間の運動不足解消と体力づくりを目指したもので、曜日ごとに学団を割り当てて、体育館で行っています。

なわとびは体のバランス能力が高まり、よい運動神経を身に付けることができます。

10分間に何回跳べるか、各自で目標を設定してがんばっています。



11月28日(木)、子どもたちが持ち寄った「赤い羽根共同募金」を、町運営委員長の日沼友成さんが、町



今週の一枚

子どもたちが持つ「共同募金」を、平成さんが、町社会福祉協議会の方に、「困っている人のために役立ててください」と言葉を添えて渡しました。

家庭でのご協力、ありがとうございました。

【連絡・お願い】



◇「学校生活アンケート」について

本日、学校生活についての保護者アンケートを配付しております。

提出締め切りは、
12月13日（金）
です。

ご多用のことと存じますが、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



授業の様子から



【1年】道徳

2つのくりの実の1つをキツネに差し出したうさぎの優しさと、涙したキツネの思いについて話し合っています。思いやりや助け合いの大切さについて考えていました。

【2年】算数

「時刻と時間」の問題に挑戦中です。時計の針の動きや数直線の図をもとに考える活動を通して、時刻や時間の関係を理解し、時刻を求められるようになります。



【3年】体育

台上前転に挑戦です。勢いよく助走をつけて強い両足踏み切りで腰を高く上げることで、回転できますが、怖さで腰が高く上がらない人もいました。何事も練習です。がんばれ!!

【4年】学級活動

「クラスを楽しくする係を決めよう」の議題で、話し合っています。根拠を示しながら自分の意見を述べるだけでなく、友達の意見に賛同したり、反対したりしながら話し合いを深めています。



【5年】外国語

基本表現「want to ~(～がしたい)」という思いを伝える表現を使って、自分の行きたい日本の場所と、そこでしたいことなどを紹介しました。

【6年】図工

学校報No.29で紹介した「紙粘土の立体像」を着色しています。それぞれの将来の夢がはっきりと見えてきました。もう少しで完成を迎えます。

命を絶ってしまうことなど、若者のメンタルヘルスの問題や、性的搾取に巻き込まれてしまうといった事態が大きく影響しています。

アルゴリズムを使って、中毒性の高いコンテンツをSNSに表示させている現状は、子どもだけでなく大人であっても、健全で正しい情報を選択することを困難にしているように思います。

SNSの急激な台頭に追いつかない社会が、利便性だけを優先し、使用する責任を個人に任せきりにしてきたことが、ここまで大きな社会問題となってしまった原因のひとつのような気がします。

子どもを取り巻くネット社会の現状について、「子どもたちは情報を浴びせられている」と話したテレビ解説員の言葉が的確で、恐ろしい思いになりました。

先日、オーストラリアで16歳未満のSNS利用を禁止する法案が可決されました。

この法案は、SNSの運営会社に16歳未満が利用できないような措置を講じることを義務付けるものです。違反した場合、日本円にして最大で49億円の罰金が科されますが、保護者や子ども自身への罰則はないといわれています。

一年後の施行ではありませんが、このような流れは欧米諸国でも見られ、ノルウェーでは現在、15歳未満の子どもがSNSを利用することを禁止しようという議論が進んでいる他、「子どもがソーシャルメディアを使用することを制限する法律」の制定が、様々な国で進められているようです。

これは、インターネット上での依存やいじめ、命を絶ってしまうことなど、若者のメンタルヘルスの問題や、性的搾取に巻き込まれてしまうといった事態が大きく影響しています。

アルゴリズムを使って、中毒性の高いコンテンツをSNSに表示させている現状は、子どもだけでなく大人であっても、健全で正しい情報を選択することを困難にしているように思います。

SNSの急激な台頭に追いつかない社会が、利便性だけを優先し、使用する責任を個人に任せきりにしてきたことが、ここまで大きな社会問題となってしまった原因のひとつのような気がします。

子どもを取り巻くネット社会の現状について、「子どもたちは情報を浴びせられている」と話したテレビ解説員の言葉が的確で、恐ろしい思いになりました。

ついに
情報過多社会をどう生きる

